

いま症状に悩んでいる方へ

知ってほしい、円形脱毛症のこと



監修

浜松医科大学 病院教授

伊藤 泰介 先生



本記事は、NHK Eテレ「きょうの健康」（2024年11月12日放送）
「髪と頭皮 日常ケアから最新治療まで『円形脱毛症 最新治療薬 効果は？』」の内容を元に構成しています。

意外と知られていない、**円形脱毛症を引き起こす原因**とは？
発症のきっかけを紹介します。

「ストレス」だけが原因ではない

一般的に、「ストレスが原因で起きる疾患」とのイメージが強い円形脱毛症。受診に訪れた患者さん自身も、思い当たる原因として「仕事のストレス」を挙げる人が少なくないといえます。しかし、円形脱毛症を引き起こす原因は、ストレスだけではありません。

ストレス以外の原因で起きる2つのケースをご紹介します。

ケース①：頭皮にけがを負った



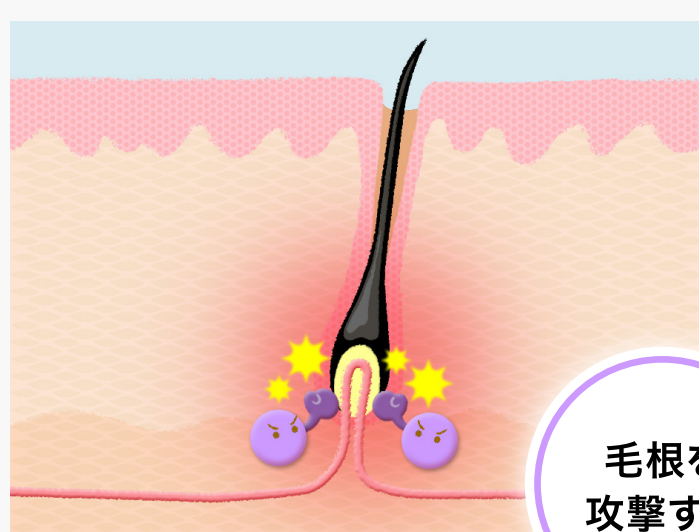
ケース②：ウイルス感染症にかかった



どちらのケースも、免疫細胞である白血球のはたらきが深く関わっています。

「免疫」のはたらきが脱毛を招く

ケース①のように、頭を強くぶつけるなどしてけがをすると、その人の頭皮では、けがを治すため白血球のはたらきが活発になります。この時、一部の白血球が誤って毛根の細胞を攻撃してしまうと考えられるのです。そのため、毛が抜けるようになり、円形脱毛症を発症したと考えられます。



同様に、インフルエンザなどの感染症にかかったケース②のような場合も、ウイルスに立ち向かうため活発化した白血球が、誤って毛根の細胞を攻撃してしまったと考えられます。

本来は、けがやウイルスから身体を守るためにはたらく「免疫」が、誤って関係のない細胞などを攻撃してしまう病気を、「自己免疫疾患」といいます。

円形脱毛症は、自己免疫疾患の一種なのです。

誰にでもある、発症の可能性

頭のけがや、ウイルス感染などの「きっかけ」によって、すべての人が円形脱毛症を発症するわけではありません。発症しやすいのは、これらの「きっかけ」に「遺伝的体質」が加わった場合であると考えられています。

円形脱毛症と関わりの深い遺伝的体質には、以下のものがあります。

きっかけ	+	体質
● けが ● ウイルス感染症 ● ストレス・出産 など		アトピー素因 ● アトピー性皮膚炎 ● 気管支ぜんそく ● アレルギー性鼻炎

発症

一方で、これらの遺伝的体質を持たない人であっても、強いきっかけがあれば発症することもあります。円形脱毛症は「誰が発症してもおかしくない病気」なのです。

なお、遺伝的体質を持っている人は再発の可能性が高いのに対し、遺伝的体質を持っていない人の場合は多くの場合、一回限りの発症となります。

円形脱毛症はストレスとか心の弱さ、そういったもので起きるというよりも、免疫の誤った働きによって起きる、自己免疫疾患であるというふうに考えています。患者さん本人や周りの方々もそのように理解していただくことが大事だと思います。



伊藤先生

制作著作：NHKエデュケーショナル
2024年12月作成
本記事の無断転用を禁止します